

お会いしたばかりですが、お別れです。



おくりびと



本木雅弘 広末涼子 余貴美子 吉行和子 笹野高史 山崎 努

監督: 滝田洋二郎 脚本: 小山薫堂 音楽: 久石 譲

製作: 信国一朗 エグゼクティブプロデューサー: 間瀬幸宏 プロデューサー: 中沢敏明、渡井敏久 企画協力: 小口健二 撮影: 浜田毅 (JSC) 照明: 高屋真 美術: 小川富美夫 編集: 川島章正
録音: 尾崎聡 監音: 小野寺修 装飾: 小池直実 衣裳監修: 北村勝彦 ビューティーディレクター: 坂根伊佐夫 ラインプロデューサー: 山下秀治 助監督: 長瀬英高 製作主任: 堀川元宏 製作担当: 田島啓次 制作プロダクション: セディックインターナショナル 配給: 松竹
©2008 映画「おくりびと」製作委員会 (TBS、セディックインターナショナル、松竹、電通、アミューズソフトエンタテインメント、小学館、毎日放送、朝日新聞社、テレビユー山形、TBSラジオ) www.okuribito.jp NOT FOR SALE

9.13 Road Show

人生最高の旅立ちのお手伝い致します。



のうかんし
納棺師 — それは悲しいはずのお別れを、
やさしい愛情で満たしてくれるひと。

年齢問わず、高給保証！ 実質労働時間わずか。
旅のお手伝い。NKエージェント！！

「ああこの広告、誤植だな。“旅のお手伝い”ではなくて、安らかな“旅立ちのお手伝い”。」—— 求人広告を手にしたNKエージェントを訪れた主人公・大悟（本木雅弘）は、社長の佐々木（山崎努）から思いもよらない業務内容を告げられる。それは【納棺（のうかん）】、遺体を棺に納める仕事だった。戸惑いながらも、妻の美香（広末涼子）には冠婚葬祭関係＝結婚式場の仕事と偽り、納棺師の見習いとして働き出す大悟。美人だと思ったらニューハーフだった青年、幼い娘を残して亡くなった母親、沢山のキスマークで送り出される大往生のおじいちゃん・・・そこには、さまざまな境遇のお別れが待っていた！

人は誰でもいつか、
おくりびと、おくらればと——

一見地味で触れ難いイメージの職業をテーマにしながらも、日本映画を代表するスタッフ・キャストがユーモアを絶妙に散りばめて、愛すること生きること紡ぎ出す異色の感動作を誕生させました。人は誰でもいつか、おくりびと、おくらればと——。すべての人に普遍的なテーマを通して、夫婦の愛、わが子への無償の愛、父や母、家族への想い、友情や仕事への矜持などを描き出す本作は、観るものに笑いと涙、そして大きな感動を、必ずや与えてくれることでしょう。2008年秋—— ユーモアと感動が融和した異色作、納棺師の物語が私たちに、さまざまな愛を届けてくれます！

おくりびと

www.okuribito.jp

劇場内での映画の撮影・録音は犯罪です
www.eigakan.org TEL 0120-550098



9月13日(土)《旅立ちの》全国ロードショー